

令和2年4月6日

オプトアウト文書

「児童相談所 及び市区町村の児童相談データベースを活用した  
AI 応用研究」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（以下「産総研」。）人工知能研究センター高岡昂太主任研究員（愛育研究所 客員研究員）は、以下に関する研究を行っております。本研究は、産総研人間工学実験事前申請、及び愛育研究所 倫理審査委員会の承認を得ております。なお、本研究は、NEDO「人と相互理解できる人工知能」、厚生労働省平成 30 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業、厚生労働科学研究費・厚生労働行政推進調査事業費（19AA1002）の研究助成を受けております。

1：はじめに

児童虐待の児童相談所への通告件数はこの 20 年で 20 倍近くに達し、虐待死亡

事例も後を絶ちません。しかしながら、児童相談所などの職員は異動や退職が多く、児童虐待対応に対する専門的な知見の蓄積が難しい状況です。判断の質の向上、業務効率化、そして人材育成のために AI を活用し、人の知見とデータに基づくより効果の高い判断が現場では求められています。

## 2：研究目的・方法

本研究は、児童相談所及び市区町村が取得した情報を元に、AI 技術を活用し、虐待対応現場で必要なリスク判定や再発率のリスク推論、対応日数のシミュレーション、また特定の地域における虐待発生予測などを行います。その上で、現場でどのような支援をすればよいのかのリコメンドなどを行います。

## 3：研究期間

平成 31 年度承認日より、令和 3 年 3 月 31 日まで

## 4：研究対象

児童虐待の疑いで通告・通報を受けた自治体 8 自治体を対象とします。なお、自

自治体名は、秘密保持契約または共同研究契約に基づき、非公開とします。

## 5：データ収集項目概要

基本情報、通告情報、リスクアセスメント情報、保護情報、措置情報、集結情報など、各自治体が持っているデータベースの項目に順じます。

## 6：個人情報の管理

使用の可否は改正個人情報保護法、自治体の情報セキュリティポリシー、自治体との契約内容、及び自治体の個人情報保護条例に基づく対応（例：個人情報審議会など）を遵守します。データの抽出、移送、保管、前処理、解析の全ての段階において、各自治体と締結し承認を得た機密保持方法、及び厳重なデータの保管と利用規定を遵守します。個人を特定することや個人情報を開示することは一切ございません。

## 7：期待される成果

機械学習により、より正確な虐待事案に関する予測結果が得られます。また、現

場の説明責任を担保するための確率モデリングを活用することで、現場職員に AI がどのような理由から、シミュレーション結果を算出したかを示し、現場の意思決定に活用することができます。

8：相談窓口

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-7

産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館（バイオ・IT 棟）産業技術総合

研究所人工知能研究センター確率モデリング研究チーム 主任研究員

母子愛育会愛育研究所 客員研究員

高岡昂太

TEL：03-3599-8914（事務 宮本）